

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 56-025242

(43)Date of publication of application : 11.03.1981

(51)Int.Cl.

G11B 7/24

G11B 23/00

(21)Application number : 54-100422 (71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 07.08.1979 (72)Inventor : MIZOBUCHI YASUO

(54) INFORMATION RECORDING DISK

(57)Abstract:

PURPOSE: To facilitate secrecy maintenancestatistical processingetc.by constituting a disk memory unit so that display information on the titlesetc.are coded and recorded in unrecorded areas and then read optically as a disk rotates. CONSTITUTION: To disk 11a circular label centering on center 14 of revolution is stuck to form unrecorded area 13. In this unrecorded area 13display information on a number for the purpose of the managementetc.of disk 11 and other symbols are entered being coded into bar codes 15 or color codes 16. The bar codes 15 and color codes 16 are optically read by the optical reader fitted to the memory driver as disk 11 rotates to judge the memory contents of recording area 12. This constitution provides the optical read of the code information and the mechanical judgement of the memory contentsso that secrecy maintenancestatiscal processingetc.can be facilitated.

⑬ 日本国特許庁 (JP)
⑫ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開

昭56—25242

⑭ Int. Cl.³
G 11 B 7/24
23/00

識別記号

庁内整理番号
7247—5D
7177—5D

⑬ 公開 昭和56年(1981)3月11日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 情報記録用ディスク

川崎市幸区柳町70番地東京芝浦
電気株式会社柳町工場内

⑮ 特 願 昭54—100422

⑮ 出 願 人 東京芝浦電気株式会社

⑯ 出 願 昭54(1979)8月7日

川崎市幸区堀川町72番地

⑰ 発 明 者 溝淵靖夫

⑰ 代 理 人 弁理士 鈴江武彦 外 2 名

明 細 書

1. 発明の名称

情報記録用ディスク

2. 特許請求の範囲

情報記録面に非記録エリアを形成し、この非記録エリアにディスクの回転に伴い光学的に読み取ることのできる形式でコード化した表示情報を表示することを特徴とする情報記録用ディスク。

3. 発明の詳細な説明

この発明はディスク記憶装置における情報記録用ディスクに関する。

ディスク記憶装置、例えば光ディスク記憶装置では、記憶する文書面をレーザビーム光で光学的に読取走査し、この読取走査により得られた読取情報に応じたビーム光を、一定速度で回転している光ディスク上に照射し、トラック状に情報を記録する。また、上記のようにしてディスクに記憶した情報を読出す場合には、ディスクを一定速度で回転させ、この回転するディスク上の情報記録トラックにレーザビーム光を

照射してディスクの回転に伴って読取走査し、この走査により得られた反射光を光電変換することにより記憶した情報を読出すものである。

ところで、このようなディスク記憶装置において記憶媒体として用いられるディスクにあつては、通常、個々の管理、利用のために、ケースあるいはディスクに貼り付けられたラベル等に、番号、タイトル、その他の記号を記入するようになつている。

一方、ディスクに対する情報の記憶及び読出しは、メモリ駆動装置により機械的に行われるものであり、従つて、ディスクの管理、利用上、上記の番号、タイトルその他の記号も機械的に読取れることが望ましい。

この発明は、上記事情に鑑みてなされたもので、その目的は、番号、タイトル、その他の記号のラベル表示した情報を機械的に読取ることができ、管理、利用上極めて有効な情報記録用ディスクを提供することにある。

以下、図面を参照してこの発明の一実施例を

説明する。第1図において、11は例えばガラスを円形に形成してなる基板表面に記録エリア12及び非記録エリア13を形成してなる光ディスクである。このディスク11は、図示しないメモリ駆動装置により回転され、この回転に伴い情報の記録及び読出しが行われる。上記記録エリア12は、基板表面にテルルなどの金属被膜層をコーティングしてなり、この記録エリア12に読取情報に応じたレーザビーム光が照射されることにより、螺旋トラック状に情報が記録される。一方、非記録エリア13は、上記基板表面に、ディスク11の回転中心14を中心とした円形のラベルを貼ることによって形成されるもので、この非記録エリア13には、ディスク11の管理、利用その他の目的で付される番号、タイトル、その他の記号の表示情報が記入される。この表示情報は第2図に示すように、ディスク11の回転中心14の外周部に沿ってバーコード15またはカラーコード16にコード化して記入されている。このバーコード

3

特開昭56-25242(2)

15及びカラーコード16は、例えば手書きにより記入されるもので、使用者が必要に応じて捺印、塗りつぶし等ができるようになっている。上記バーコード15及びカラーコード16は、前記メモリ駆動装置に取り付けられた区示しない光学的読取装置によつて、ディスク11の回転に伴い光学的に読取走査される。そして、この読取装置により読取られた表示情報によつて、記録エリア12における記憶情報の内容を判断するものである。

すなわち、このような構成の情報記録用ディスク11にあつては、メモリ駆動装置によつて回転され、記録エリア12から記憶情報の読出しが行われる前に、光学的読取装置により非記録エリア13に記入されたバーコード15またはカラーコード16から表示情報を読取り、記録エリア12に記憶された情報の内容を判断するものである。

尚、上記実施例においては、情報記録用ディスクとして、光ディスク記憶装置における光ア

4

ディスクを用いて説明したが、これに限定するものではなく、例えば磁気ディスク記憶装置における磁気ディスクでもよいことは勿論である。

以上のようにこの発明によれば、非記録エリアに表示した番号、タイトル等の表示情報をコード化し、このコード情報をディスクの回転に伴い光学的に読取るようにしたので、機械的にその記憶内容を判断することができ、従来に比べてその秘密保持、脱訂止等が容易になり、ディスクの管理、利用上極めて有効である。

4. 図面の簡単な説明

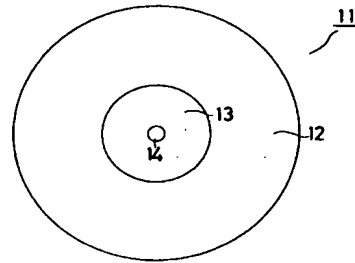
第1図はこの発明の一実施例に係る情報記録用ディスクの平面図、第2図は上記ディスクの非記録エリア部を示す平面図である。

12…記録エリア、13…非記録エリア、
15…バーコード、16…カラーコード。

出願人代理人 弁理士 鈴木 武彦

5

第1図



第2図

